

子どもの意見反映に関する調査及び意見・アイデア募集

調査結果

1 概要

北海道ユースプランナーに「子どもの意見反映に関する調査及び意見・アイデア募集」を行い、若い世代の意識を調査するとともに、道の施策の参考とする。

2 対象

北海道ユースプランナー（登録者 名）

3 実施期間

令和6年（2024年）2月2日～2月16日

4 実施方法

北海道電子自治体共同システムの簡易申請システム

5 回答率

登録者 148名 回答者 5名 回答率 3.3%

※ 大学1年生	1名	(20.0%)
大学2年生	1名	(20.0%)
大学3年生	3名	(60.0%)
大学4年生	0名	(0.0%)

問1 対象とする子どもは、どの年代以上が適当だと思いますか。

「小学校高学年（4～6年生）」が最も多く全体の40.0%（2名）でした。

(1) 小学校低学年（1～3年生）	1人（20.0%）
(2) 小学校高学年（4～6年生）	2人（40.0%）
(3) 中学生	1人（20.0%）
(4) 高校生	1人（20.0%）

問2 子どもの意見を聞く方法として、効果的・効率的に実施する観点から、どの方法が望ましいと考えますか。

「インターネット（簡易申請等）で設問を用意し、意見を聞く」が最も多く60.0%（3名）でした。

(1) インターネット（簡易申請等）で設問を用意し、意見を聞く	3人（60.0%）
(2) 学校等において対面で説明し、直接意見を聞く	2人（40.0%）
(3) オンラインで説明し、直接意見を聞く	0人（0.0%）
(4) その他（自由記載）	0人（0.0%）

問3 インターネット（簡易申請等）で子どもの意見を聞く場合、どのような方法で子どもに知らせると関心を持つと思いますか。

回答者全員が「チラシを作成し、学校（先生）を通じて子どもに配布」と回答しました。

(1) チラシを作成し、学校（先生）を通じて子どもに配布	5名（100.0%）
(2) 道の広報紙等に掲載し、保護者から子どもに伝える	0名（0.0%）
(3) 道のホームページに掲載し、保護者から子どもに伝える	0名（0.0%）
(4) その他（自由記載）	0名（0.0%）

問4 子どもから直接意見を聞く際にどのような工夫が必要か、意見やアイデアがあれば教えてください。

ユースプランナーからのご意見・アイデア

【取組の周知や説明について】	
1	<p>子どもをどの年齢と仮定するかによりますが、<u>参加することのメリット</u>を伝えたほうがより良いと思います。小さい子供であればあるほど難しいかもしれませんが、大きくなってくると、<u>経験になる、自分の声が反映されるかもしれない</u>ということは<u>メリットになる</u>と思います。</p> <p>【道担当者からの回答】</p> <p>参加することにより経験が得られる、自分の声が反映されるというメリットを取組の前に伝えることが大事であるとのご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>ご意見を反映させていただき、取組の周知の際には、皆さんからの声がどのように施策に反映されるかなど、メリットと感じていただける要素について、丁寧に説明をさせていただきたいと考えております。</p>
2	<p>子供たちの情報の幅はかなり狭いと思います。正直私も、道の広報誌は存在すらこのアンケートで知りましたし、道のホームページも今まで数回しか閲覧したことがありません。そして小さな子供はよりアクセスしない（アクセスできない）と思いますし、中高生だとしてもそれらの中から適切な情報を見つけることには労力が必要だと思います。そのため<u>学校経由か、中高生がよく利用する SNS が効果的だ</u>と思いました。</p> <p>【道担当者からの回答】</p> <p>周知の方法について、「学校経由か SNS が効果的」とのご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見のとおり、各学校のご協力の下、学校で周知させていただくほか、子ども政策局の SNS 等での周知も行いたいと思います。</p>
【意見の聞き方】	
3	<p><u>分かりやすい表現などを多用することや、図などを文章とともに使用すること</u>で意見を出しやすくなるのでは無いかと考えます。やはり様々な考えを持っていても、<u>質問の意図を理解することが出来なければ意見を出しづらくなってしま</u>うのではないのでしょうか。</p> <p>【道担当者からの回答】</p> <p>意見を出しやすくするためには、わかりやすい表現や図などを使用し、質問の意図をわかりやすく伝えることが必要とのご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見のとおり、対象となる年代に合わせた言葉づかい（やさしい日本語を用いる等）やイラスト・グラフ等を使用し、皆さんにとって分かりやすい資料の作成に努めてまいります。</p>
4	<p>“子どもだから困っていること”を聞くのではなく、“<u>私が困っていること</u>”にフォーカスできるような質問をする方が施策の参考になりそうだと思います。</p> <p>【道担当者からの回答】</p> <p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見のとおり、子どもを取り巻く全般的な事柄だけでなく、自分自身が困っていることなどについても意見を伝えることができるよう、意見の聞き方や雰</p>

	<p>困気づくりに配慮したいと考えております。</p>
5	<p>子どもは周りのことをよく見ているので、「こんなことで友達が困っているのを見た」という客観的な言葉も聞けたら意見の幅が広がると思います。</p> <p>【道担当者からの回答】</p> <p>子どもの身の回りで起きていることについても意見を聞けたら、意見の幅が広がるのご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見のとおり、自分自身のことだけでなく、身の回りの友人や地域等のことについても、意見を聞くことができるよう、聞き方を検討してまいります。</p>
6	<p>子どもたちが普段使っているであろう施設や場所を記載する方が考えやすいのではないかと思います。</p> <p>【道担当者からの回答】</p> <p>子どもたちの身近な例（施設や場所等）を記載した方が考えやすいのご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見のとおり、意見を聞く際には、必要に応じて身近な例を記載するなど工夫してまいります。</p>
7	<p>学校の授業で現在の取組について説明があった後、配布物として、アンケート用のQRコードを配布し、答案の時間を取るとよいと思う。</p> <p>【道担当者からの回答】</p> <p>学校で周知する場合はアンケート用の二次元コードを配布して、その場で意見を聞けるようにすると良いのご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見のとおり、周知に用いるリーフレット等には二次元コードを添付し、そのような場面にも対応できるように作成してまいります。</p>

問5 より多くの子どもから意見を聞くためには、どのような取組・方法が良いか、意見やアイデアがあれば教えてください。

ユースプランナーからのご意見・アイデア

1	<p>座談会：子供たちはオンラインで意見を言うことにあまり慣れていなく、<u>リモートより対面の方が質が高まる</u>と思います。</p> <p>オンライン：大学生であれば各々リモート授業にも対応できるような機器を持っていますが、高校生までは少ないと思います。そのため<u>学校配布のタブレット等があり、通信環境も用意できるのであれば、それらを活用することも一つの方法</u>としてあると思います。</p> <p>アンケート：<u>気軽に参加でき、短時間で終わるので多くの回答を得られる</u>と思いました。</p>
	<p>【道担当者らの回答】</p> <p>それぞれの方法について、お教えいただきありがとうございます。</p> <p>ご意見のとおり、意見を聴く内容や、子どもの状況によって、適する方法は異なると考えております。状況に応じて、様々な方法を用いて、多様な子どもの声を聞く機会を持ちたいと考えております。</p>
2	<p><u>授業の一環として行うことも魅力的だ</u>と思いました。最近では総合的な探求の時間が設けられていますが、学校の先生たちは十分に時間がなく授業準備に苦労しているという声があります。また地域に関連した学習をすることも推奨されているので、北海道のために考えるということは授業の目的にも沿っていると思います。<u>座談会、オンライン、アンケートなどは子供たちが主体的に情報を見つけて参加しなくてはなりません</u>が、<u>授業で行うのであればある程度の環境は用意できるので参加しやすい</u>と感じます。</p>
3	<p><u>学校へ配布するための資料を作成し、教職員を通して子供たちへ周知していくのが良い</u>のではないのでしょうか。また<u>クラス単位で意見を出したり考えたりする時間を設けても良いのでは</u>と考えます。探求の時間などを利用してはどうかと思います。</p> <p>【道担当者からの回答】</p> <p>学校の授業の一環として実施するのが参加しやすい、教職員を通じて周知するのが良いとのご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>直接対話する形式で意見聞く場合は、学校で意見交換を行う予定であり、授業の一環としての実施の可否について、関係機関と相談しながら進めてまいります。</p> <p>周知に関しては、いただいたご意見のとおり、学校をはじめ、児童館、放課後等児童クラブ、図書館など幅広く周知してまいります。</p>
4	<p>お菓子、配りましょう。</p> <p>【道担当者からの回答】</p> <p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>意見を聞く子どもにお菓子を配ることで、リラックスした雰囲気がつくられるというアイデアと認識をさせていただきました。</p> <p>お菓子を配ること自体は、衛生面など様々な事情から難しいと考えますが、直接対話をして意見を聞く際には、子どもたちがリラックスして意見を伝えることができる雰囲気づくりを行いたいと思います。</p>